

奥羽山脈緑の回廊

管轄森林管理局	東北森林管理局
所在地	秋田県、岩手県、山形県、宮城県
面積	約73,000ha 注1:本モニタリングは、奥羽山脈緑の回廊のうち秋田自動車道付近を境界とし、焼石岳北麓より南側の約38,600haを対象地域とした。これは奥羽山脈緑の回廊全体の約53%に当たる。 注2:連結する保護林(約74,000ha)を除く。
設定年	2000年(平成12年)
緑の回廊の概要 (設定目的)	奥羽山脈緑の回廊は、奥羽山脈沿いに、青森県の八甲田山周辺から宮城・山形県の蔵王山周辺まで、幅約2km、延長約400kmにわたって設定されている。 森林生態系(保護林)を保全すると共に、生息・生育する野生動物の広域的なつながりを確保して個体群の交流を可能にし、種の保存、遺伝資源の保全を図り、生物の多様性を効果的に確保することを目的としている。



緑の回廊における森林



センサーカメラで捉えたニホンジカ

モニタリング調査概要

実施年度	2017～2022年(平成29年～令和4年)
調査項目	森林調査(森林タイプ分析、樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査等)、動物調査、聞き取り調査。
調査手法	森林生態系多様性基礎調査、保護林モニタリング調査として、調査プロットを設定し、定点写真の撮影や樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要等を把握した。動物調査として、哺乳類調査と鳥類調査を実施した。資料調査、聞き取り調査も実施。
結果概要	森林タイプや樹種構成は多様であり、森林被害は発生していない。アンブレラ種となる野生動物も多く確認されている。緑の回廊及び連結する保護林は概ね良好に維持・管理されている。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。